

医療と介護の多様な職種による連携の推進について

1 現状と課題

医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ慢性疾患、認知症など、訪問診療が必要な高齢者の数は、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年には、約 14 万 3 千人/日となり、2013 年の約 1.6 倍に増加する見込みとなっています（東京都における在宅医療等の医療需要の推計）。

また、希望する介護の形態として在宅で生活を続けたいと思っている人は、高齢者意識調査で 52.7%、要支援・要介護認定調査で 53.1%、最期を迎えたい場所として自宅を選択している人は、高齢者意識調査では 46.5%、要支援・要介護認定者調査では 43.2%と、半数近い方が在宅での生活や人生の最期を自宅で迎えたいと望んでいます。

可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療と介護が連携した体制の整備を推進していく必要があります。

《医療と介護の連携の推進における課題》

- 在宅ケアは、多職種で円滑に連携し、意思疎通を図る必要がある。
- 他の職種の職務の内容を相互に理解する必要がある。
- 在宅生活の限界点を高める 24 時間対応のサービスの普及が必要。
- 在宅療養に関する周知が不足している。

【第 6 期計画での具体的な取り組み例】

（第 6 期計画 2-5③医療と介護の連携推進 掲載事業）

- 69 医療・介護関係者会議の参加・開催
- 70 在宅医療連携拠点の整備（多職種協働研修）
- 71 在宅医療・介護連携に関する介護支援専門員向け研修の実施
- 72 医療と介護の連携ガイドの活用
- 73 医療に関する広報・啓発
- 74 安全においしく食べ続けるための環境整備
- 75 在宅医療 24 時間診療事業の実施

（第 6 期計画 2-5③医療と介護の連携推進関連施策 掲載事業）

- 37 認知症高齢者ネットワーク会議の開催
- 41 認知症ケアパスの作成

（その他関連施策）

- 2 地域包括ケアシステムの周知
- 50 「自宅での看取り」などについての情報提供
- 62 地域ケア会議の実施
 - ・看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備

2 第 7 期計画における推進の視点

増加していく、医療を必要とする要介護者が、本人や家族の希望に基づき住み慣れた地域で充実した生活を送れるよう、医療と介護の関係者の円滑な連携を更に進めるとともに、在宅療養に必要な医療体制や介護サービスを整えます。

また、在宅療養や地域包括ケアシステムについての市民周知を進めていきます。

(1) 多職種顔の見える関係づくり

サービス担当者会議、退院時カンファレンスや困難ケースの地域ケア会議などの連携の場や、その他研修などの機会を持ち、多職種顔の見える関係づくりを進め、様々な場面において、在宅生活の円滑な支援を目指します。

【第 7 期計画での取り組み案】

- 62 地域ケア会議の実施<<継続>>
 - 69 医療・介護関係者会議の参加・開催<<継続>>
 - 在宅医療連携拠点による多職種協働研修<<継続>>
- など

(2) 専門職の多職種連携への理解促進

市や東京都などの研修により、専門職の在宅支援に関するスキルアップを図るとともに、多職種連携への理解の促進に取り組みます。

【第 7 期計画での取り組み案】

- 72 医療と介護の連携ガイドの活用<<拡充>>
 - ◇多職種連携に関する介護支援専門員向け研修の実施<<新規>>
- など

(3) 在宅療養を支える医療の提供と介護サービスの拡充

地域の身近な相談窓口である高齢者あんしん相談センターの充実を図るとともに、在宅医療相談窓口と連携し、在宅の療養生活を支援します。また、在宅生活の限界点を高める 24 時間対応のサービスの充実を図ります。

【第 7 期計画での取り組み案】

- 74 安全に楽しく食べ続けるための環境整備<<継続>>
 - 75 在宅医療 24 時間診療事業の実施<<継続>>
 - ・看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備<<継続>>
 - ◇地域包括ケア病棟の活用<<新規>>
 - ◇多職種連携に向けた高齢者あんしん相談センター職員研修等の実施<<新規>>
- など

(4) 在宅療養に関する市民周知

医療や介護が必要になった場合や終末期において、本人や家族が希望する生活を送れるよう、療養の場の選択を考えることの大切さについて、市民へ啓発していきます。

【第 7 期計画での取り組み案】

- 2 地域包括ケアシステムの周知<<継続>>
- 73 医療に関する広報・啓発<<拡充>>
- 認知症ケアパスの活用<<継続>>
- ◇在宅療養に関する市民周知<<新規>>
- など

【参考】在宅医療・介護連携推進事業の取組状況

- ア 地域の医療・介護の資源の把握
 - 72 医療と介護の連携ガイドの活用<<継続>>
 - ◇医療機関ガイド<<掲載新規>>
- イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
 - 37 認知症高齢者ネットワーク会議の開催<<継続>>
 - ◇多職種連携支援システム<<掲載新規>>
- ウ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
 - 75 在宅医療 24 時間診療事業の実施<<継続>>
 - ◇多職種連携支援システム<<掲載新規>>
 - ◇在宅療養患者搬送事業<<掲載新規>>
- エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
 - ◇多職種連携支援システム<<掲載新規>>
- オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
 - 70 在宅医療連携拠点の運用<<継続>>
- カ 医療・介護関係者の研修
 - 在宅医療連携拠点による多職種協働研修<<継続>>
 - 71 在宅医療・介護連携に関する介護支援専門員向け研修の充実<<継続>>
- キ 地域住民への普及啓発
 - ◇在宅医療相談窓口の各種パンフレット<<掲載新規>>
 - ◇救急医療情報シート<<掲載新規>>
 - 認知症ケアパスの活用<<継続>>
- ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
 - ◇在宅療養担当者連絡会への参加<<掲載新規>>